

I 就業の状況

1 就業者の推移

令和6年の就業看護職員総数は、34,467人で、その内訳は、保健師1,156人、助産師521人、看護師25,043人、准看護師7,747人となっています。前回(令和4年)から就業看護職員総数は、401人(1.2%)減少し、10年前(平成26年)と比較すると、1,370人(4.1%)増加しています。また、就業保健師数、助産師数及び看護師数は、調査年毎に増加していますが、就業准看護師数は近年、平成14年をピークに減少傾向にあり、8,000人を下回っています(表1、図1)。

一方、令和6年の人口10万対就業看護職員数は、2,031.0人で全国平均1,371.9人と比較すると659.1人上回り、全国5位となっています(表1)。また、職種別内訳をみると、人口10万対就業保健師数68.1人(全国17位)、人口10万対就業看護師数1,475.7人(全国7位)、人口10万対就業准看護師数456.5人(全国1位)といずれも全国平均を上回りましたが、人口10万対就業助産師数は、30.7人(全国33位)で、全国平均を下回っています(表1)。

平成20年から公表している常勤換算による就業看護職員数は、令和6年は、31,820.0人で、前回調査から504.5人減少しています(表1)。

表1 就業看護職員数の推移

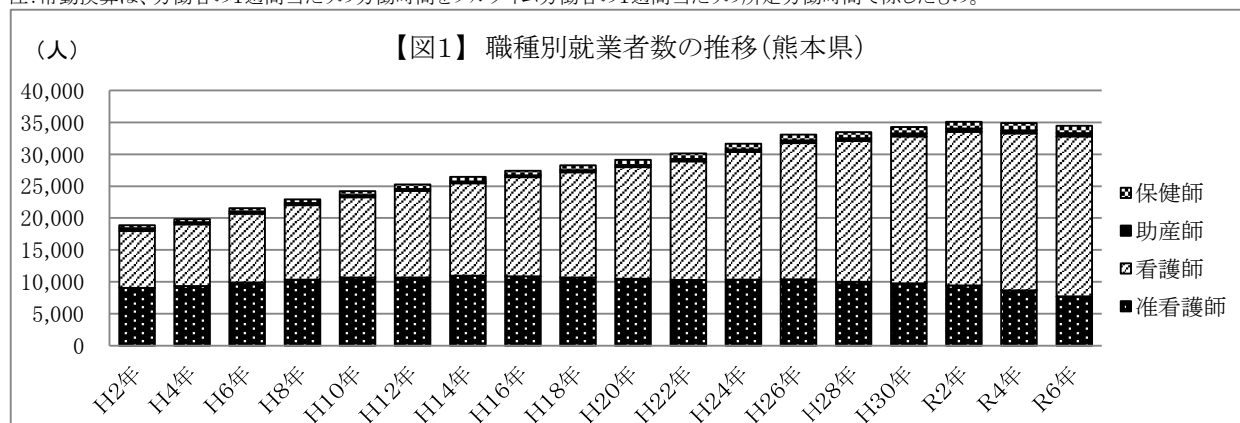
<単位:人>

調査年	保健師		助産師	看護師		准看護師		合計		2年前からの増加数	常勤換算(注)
	男性再掲			男性再掲		男性再掲		男性再掲			
平成2年	456		413	8,903	224	9,084	407	18,856	631		
平成4年	475		364	9,681	296	9,327	470	19,847	766	991	
平成6年	521		363	10,749	356	9,934	571	21,567	927	1,720	
平成8年	553	1	353	11,644	419	10,371	605	22,921	1,025	1,354	
平成10年	634		334	12,589	498	10,675	681	24,232	1,179	1,311	
平成12年	698	1	319	13,543	606	10,698	706	25,258	1,313	1,026	
平成14年	707		306	14,504	718	10,947	777	26,464	1,495	1,206	
平成16年	728		307	15,529	835	10,865	852	27,429	1,687	965	
平成18年	744	1	331	16,473	951	10,708	847	28,256	1,799	827	
平成20年	808	5	337	17,518	1,076	10,470	837	29,133	1,918	877	27,862.9
平成22年	831	9	379	18,609	1,221	10,295	876	30,114	2,106	981	28,721.9
平成24年	898	10	416	19,993	1,420	10,352	892	31,659	2,322	1,545	30,033.5
平成26年	910	8	441	21,333	1,559	10,413	920	33,097	2,487	1,438	31,301.1
平成28年	929	16	454	22,075	1,680	9,996	880	33,454	2,576	357	31,524.2
平成30年	992	23	468	23,012	1,858	9,776	897	34,248	2,778	794	31,996.4
令和2年	1,038	25	502	24,097	2,049	9,433	878	35,070	2,952	822	31,935.0
令和4年	1,103	26	508	24,586	2,222	8,671	813	34,868	3,061	-202	32,324.5
令和6年	1,156	23	521	25,043	2,329	7,747	732	34,467	3,084	-401	31,820.0
割合	3.3%		1.5%	72.7%		22.5%		100.0%			
人口10万対(全国順位)	68.1(17位)		30.7(33位)	1,475.7(7位)		456.5(1位)		2,031.0(5位)			
(全国)令和6年	63,536		38,721	1,363,142		233,022		1,698,421			
割合	3.7%		2.3%	80.3%		13.7%		100.0%			
人口10万対	51.3		31.3	1,101.1		188.2		1,371.9			

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)、

総務省統計局「人口推計」(調査日:令和6年10月1日)

注:常勤換算は、労働者の1週間当たりの労働時間をフルタイム労働者の1週間当たりの所定労働時間で除したもの。



2 場所別就業状況

令和6年の就業場所別の就業看護職員の実人員数は、前回調査(令和4年)と同様、病院が20,166人(58.5%)と最も多く、次いで診療所5,884人(17.1%)、介護保険施設等3,698人(10.7%)となっています(表2)。

また、就業看護職員数の平成26年から令和6年までの10年間の増加率は、訪問看護ステーションが134.4%と最も高く、次いで助産所115.2%となっています(表3)。

表2 令和6年の職種別就業場所別就業数

<単位:人>

就業場所 職種		病院	診療所	介護保険施設等	県又は市町村	ステーション 訪問看護	社会福祉施設	事業所	助産所	学校養成所 看護師等	その他	計
実人員	保健師	131	91	20	776	9	8	65	0	14	42	1,156
	助産師	290	138	0	13	3	0	0	64	13	0	521
	看護師	17,178	3,069	1,799	319	1,652	495	59	6	284	182	25,043
	准看護師	2,567	2,586	1,879	47	211	345	34	1	4	73	7,747
	総数	20,166	5,884	3,698	1,155	1,875	848	158	71	315	297	34,467
	割合(%)	58.5%	17.1%	10.7%	3.3%	5.4%	2.5%	0.5%	0.2%	0.9%	0.9%	99.9%
常勤換算	保健師	117.5	83.5	19.8	740.6	7.6	7.6	61.8	0.0	14.0	34.9	1,087.3
	助産師	276.4	129.2	0.0	8.5	1.2	0.0	0.0	55.2	12.5	0.0	483.0
	看護師	16,385.3	2,677.7	1,588.3	247.4	1,432.2	427.1	48.6	5.2	269.0	149.2	23,230.0
	准看護師	2,414.8	2,330.1	1,670.0	36.1	179.5	297.8	25.4	1.0	2.7	62.3	7,019.7
	総数	19,194.0	5,220.5	3,278.1	1,032.6	1,620.5	732.5	135.8	61.4	298.2	246.4	31,820.0
	割合(%)	60.3%	16.4%	10.3%	3.3%	5.1%	2.3%	0.4%	0.2%	0.9%	0.8%	100.1%
全国	実人員総数	999,208	282,868	169,439	58,649	97,868	39,487	51,538	3,164	19,622	16,065	1,737,908
	割合(%)	57.5%	16.3%	9.7%	3.4%	5.6%	2.3%	3.0%	0.2%	1.1%	0.9%	100.0%

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

表3 就業場所別就業数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年		病院	診療所	介護保険施設等	県又は市町村	ステーション 訪問看護	社会福祉施設	事業所	助産所	学校養成所 看護師等	その他	計
平成24年		19,381	6,394	2,954	1,036	571	649	213	28	311	122	31,659
	男性再掲	1,817	141	249	9	13	71	6	0	11	5	2,322
平成26年		20,015	6,361	3,450	1,073	800	774	106	33	326	159	33,097
	男性再掲	1,925	134	290	13	19	84	7	0	11	4	2,487
平成28年		20,120	6,317	3,698	1,081	901	768	66	32	326	145	33,454
	男性再掲	1,993	136	286	14	43	87	1	0	13	7	2,580
平成30年		20,489	6,394	3,978	1,113	1,036	586	76	32	327	217	34,248
	男性再掲	2,153	143	337	20	62	33	3	0	13	14	2,778
令和2年		20,903	6,228	4,295	1,118	1,107	622	85	41	317	354	35,070
	男性再掲	2,290	139	360	22	78	31	0	0	15	17	2,952
令和4年		20,503	6,103	4,185	1,158	1,348	720	121	44	334	352	34,868
	男性再掲	2,316	135	375	23	128	38	5	0	20	21	3,061
令和6年		20,166	5,884	3,698	1,155	1,875	848	158	71	315	297	34,467
	男性再掲	2,302	121	333	21	206	61	6	0	21	13	3,084
増加率(注)		0.8%	-7.5%	7.2%	7.6%	134.4%	9.6%	49.1%	115.2%	-3.4%	86.8%	4.1%

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

注:増加率は、平成26年から令和6年までの増加率。

3 職種別場所別年次別就業状況

(1) 保健師

令和6年の就業保健師総数は、1,156人で、平成20年の特定健診、特定保健指導制度の導入、地域包括ケアシステム構築等に向けた取組などから、調査年毎に増加しています(表4)。また、就業場所別割合を全国と比較すると、熊本県では、保健所及び事業所の割合が低くなっています(図2)。

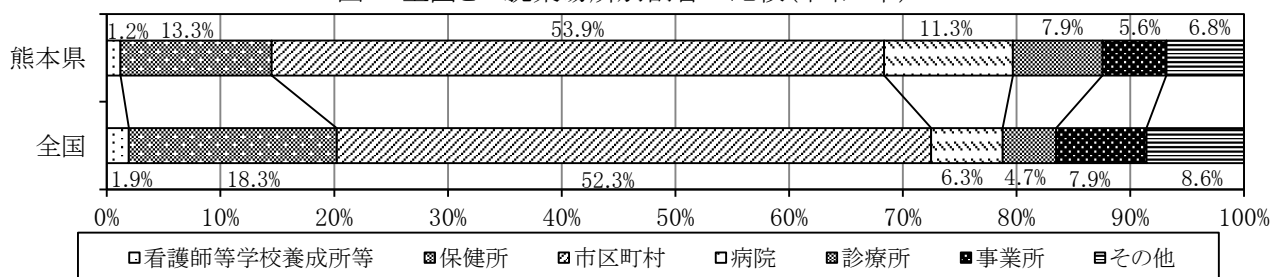
表4 就業場所別就業保健師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	保健所	市区町村	事業所	看護師等 学校養成所 等	その他	計
平成24年	80	61	2	7	5	67	555	81	22	18	898
平成26年	84	62	2	10	5	66	583	47	12	39	910
平成28年	108	76	2	43	3	66	553	29	12	37	929
平成30年	111	79	2	32	3	72	593	37	12	51	992
令和2年	119	78	6	44	5	104	571	45	14	52	1,038
令和4年	135	81	2	32	2	158	603	57	13	20	1,103
令和6年	131	91	9	20	8	153	623	65	14	42	1,156
常勤換算	117.5	83.5	7.6	19.8	7.6	145.0	595.6	61.8	14.0	34.9	1,087.3
(全国)令和6年	3,987	2,990	451	2,183	521	11,608	33,217	5,045	1,238	2,296	63,536

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図2 全国との就業場所別割合の比較(令和6年)



(2) 助産師

令和6年の就業助産師総数は、521人で、調査年毎に増加しており、就業場所別では、助産所の就業数が平成28年以降調査年毎に増加しています(表5)。また、就業場所別割合を全国と比較すると、熊本県では、保健所、市町村及び病院の割合が低くなっています(図3)。

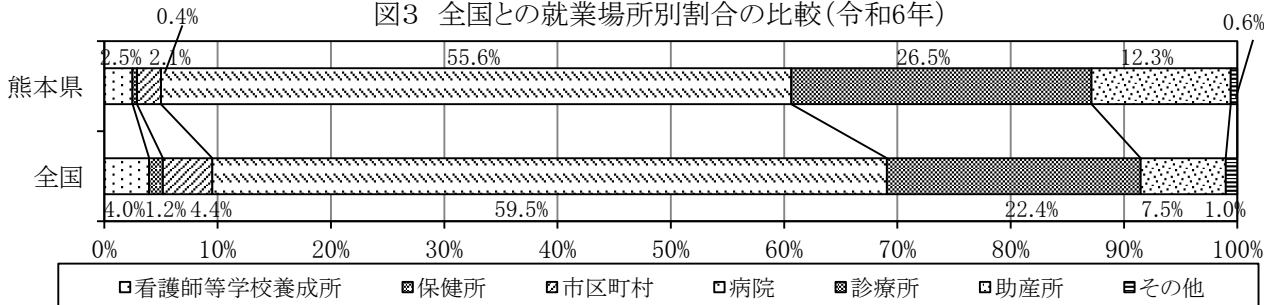
表5 就業場所別就業助産師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	病院	診療所	助産所	保健所	市区町村	看護師 等学校 養成所	その他	計
平成24年	249	106	28	9		23	1	416
平成26年	257	111	33	10		28	2	441
平成28年	261	129	31	7		25	1	454
平成30年	277	124	32	12		22	1	468
令和2年	297	138	41	8		18	0	502
令和4年	297	140	44	10		16	1	508
令和6年	290	138	64	2	11	13	3	521
常勤換算	276.4	129.2	55.2	1.2	7.3	12.5	1.2	483.0
(全国)令和6年	23,054	8,672	2,905	470	1,689	1,534	397	38,721

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図3 全国との就業場所別割合の比較(令和6年)



(3) 看護師

令和6年の就業看護師総数は、25,043人で、前回調査と比較すると、介護保険施設等、市町村、看護学校等を除く就業場所で、就業数が増加しています(表6)。また、就業場所別割合は、全国と同様の傾向となっています(図4)。

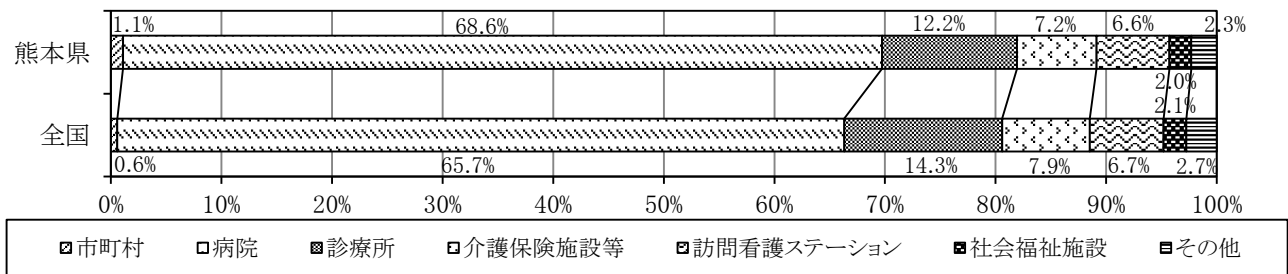
表6 就業場所別就業看護師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福 祉施設	保健所	市町村	看護師 等学校 養成所	その他	計
平成24年	14,837	2,336	492	1,226	376	16	301	266	143	19,993
平成26年	15,599	2,421	698	1,459	432	12	311	285	116	21,333
平成28年	15,933	2,528	774	1,631	472	16	321	289	111	22,075
平成30年	16,497	2,712	904	1,790	344	17	310	292	146	23,012
令和2年	17,156	2,812	958	1,975	370	36	282	283	225	24,097
令和4年	17,177	2,977	1,184	1,964	436	43	282	303	220	24,586
令和6年	17,178	3,069	1,652	1,799	495	44	275	284	247	25,043
常勤換算	16,385.3	2,677.7	1,432.2	1,588.3	427.1	33.5	213.9	269.0	203.0	23,230.0
(全国)令和6年	895,944	194,665	91,022	107,984	28,093	2,760	8,035	16,790	17,849	1,363,142

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図4 全国との就業場所別割合の比較(令和6年)



(4) 准看護師

令和6年の就業准看護師総数は、7,747人で、病院及び診療所では、調査年毎に減少していますが、一方で、訪問看護ステーションの就業数は、調査年毎に増加しています(表7)。また、就業場所別割合は、全国と同様の傾向となっています(図5)。

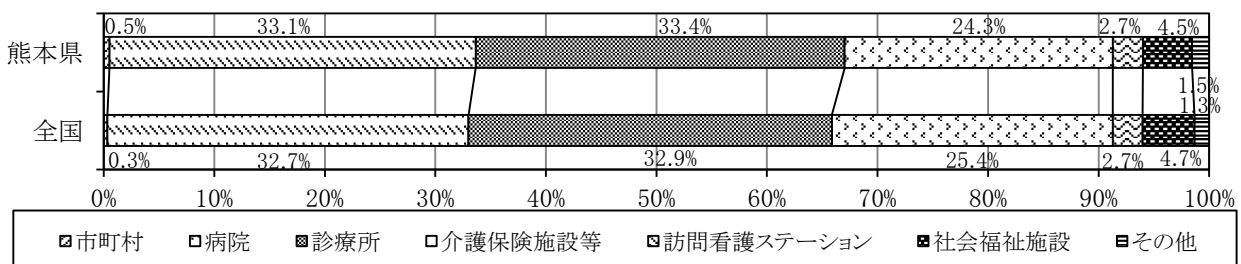
表7 就業場所別就業准看護師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保 険施設 等	社会福 祉施設	保健所	市町村	その他	計
平成24年	4,215	3,891	77	1,721	268	1	87	92	10,352
平成26年	4,075	3,767	99	1,981	337	—	91	63	10,413
平成28年	3,818	3,584	125	2,024	293	—	88	64	9,996
平成30年	3,604	3,479	130	2,156	239	—	66	102	9,776
令和2年	3,331	3,200	143	2,276	247	—	67	169	9,433
令和4年	2,894	2,905	162	2,189	282	—	62	177	8,671
令和6年	2,567	2,586	211	1,879	345	7	40	112	7,747
常勤換算	2414.8	2330.1	179.5	1670.0	297.8	5.3	30.8	91.4	7019.7
(全国)令和6年	76,223	76,541	6,293	59,272	10,833	101	769	2,990	233,022

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図5 全国との就業場所別割合の比較(令和6年)



4 年齢別職種別就業状況

令和6年の就業者総数の年齢区分別割合では、40歳代が26.0%で最も多く、次いで50歳代が23.5%を占めています。また、10年前の平成26年と比較すると、令和6年では、60歳以上(9.5ポイント増加)で就業割合が増加しています(表8、図6)。

さらに、職種別の年齢構成の特徴は、就業看護師数が25～29歳・45～49歳をピークとするM字カーブ、就業保健師数が35～39歳、就業助産師数が25～29歳、就業准看護師数が60～64歳をピークとする山型の傾向になっています(図7、図8)。

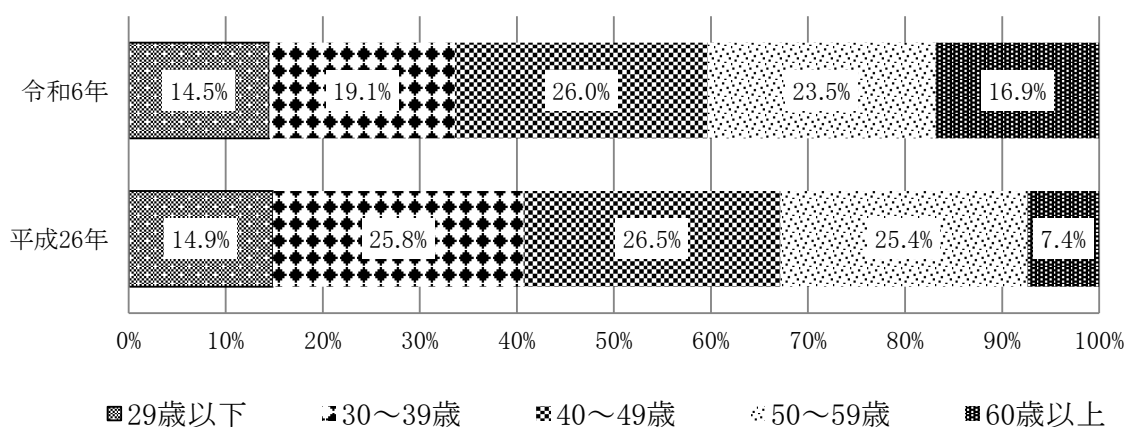
表8 年齢区分別職種別就業数

<単位:人>

職種 年齢区分	保健師		助産師		看護師		准看護師		計	
		割合		割合		割合		割合		割合
25歳未満	45	3.9%	41	7.9%	1,750	7.0%	171	2.2%	2,007	5.8%
25～29	96	8.3%	92	17.7%	2,576	10.3%	220	2.8%	2,984	8.7%
30～34	146	12.6%	65	12.5%	2,450	9.8%	338	4.4%	2,999	8.7%
35～39	217	18.8%	63	12.1%	2,803	11.2%	510	6.6%	3,593	10.4%
40～44	188	16.3%	63	12.1%	3,219	12.9%	853	11.0%	4,323	12.5%
45～49	148	12.8%	59	11.3%	3,412	13.6%	1,034	13.3%	4,653	13.5%
50～54	108	9.3%	49	9.4%	3,071	12.3%	973	12.6%	4,201	12.2%
55～59	89	7.7%	26	5.0%	2,545	10.2%	1,233	15.9%	3,893	11.3%
60～64	72	6.2%	32	6.1%	1,881	7.5%	1,241	16.0%	3,226	9.4%
65～69	34	2.9%	17	3.3%	960	3.8%	769	9.9%	1,780	5.1%
70～74	10	0.9%	10	1.9%	308	1.2%	317	4.1%	645	1.9%
75歳以上	3	0.3%	4	0.8%	68	0.3%	88	1.1%	163	0.5%
計	1,156	100.0%	521	100.0%	25,043	100.0%	7,747	100.0%	34,467	100.0%

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届(調査日:令和6年12月31日)

図6 平成26年と令和6年の就業看護職員の年齢構成の比較



■ 29歳以下

■ 30～39歳

■ 40～49歳

■ 50～59歳

■ 60歳以上

図7 就業保健師・就業助産師の年齢構成 (令和6年)

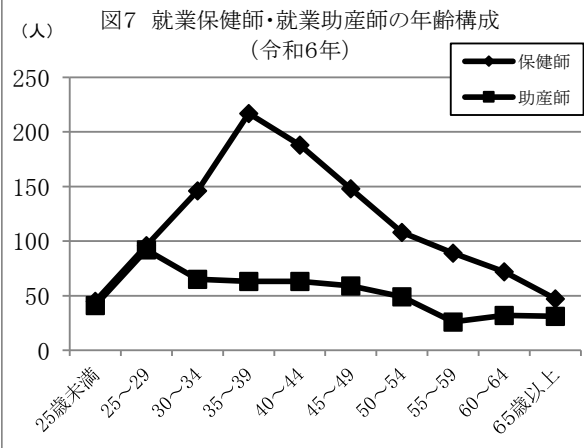
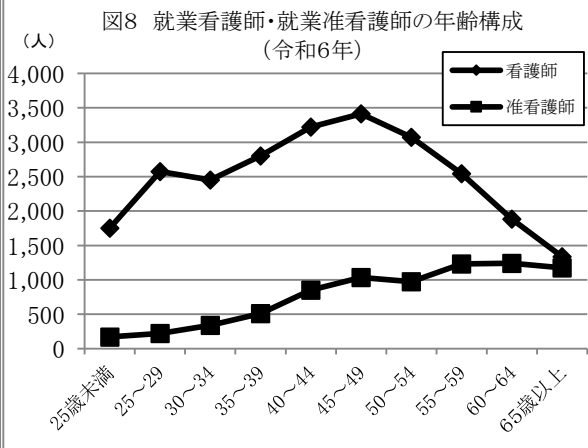


図8 就業看護師・就業准看護師の年齢構成 (令和6年)



5 保健所管轄別職種別就業状況

令和6年の保健所管轄別就業看護職員総数が最も多いのは、熊本市の16,466人(47.8%)で、次いで、菊池3,004人(8.7%)、八代2,720人(7.9%)の順となっています。一方、保健所管轄別就業看護職員総数が最も少ないのは、阿蘇の861人(2.5%)、次いで山鹿897人(2.6%)となっています(表9)。

表9 令和6年の保健所管轄別就業場所別職種別就業数

<単位:人>

保健所		有明	山鹿	菊池	阿蘇	御船	宇城	八代	水俣	人吉	天草	熊本市	計
保健師	就業場所												
	病院	6	7	10	0	1	2	9	1	7	9	79	131
	診療所	3	0	1	0	1	1	4	0	10	4	67	91
	訪問看護ステーション	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	5	9
	介護保険施設等	0	0	0	0	3	1	1	1	3	3	8	20
	社会福祉施設	0	1	1	1	2	0	0	1	0	0	2	8
	県又は市町村	91	29	73	50	60	46	54	28	65	60	220	776
	事業所	1	1	16	2	1	3	0	0	0	2	39	65
	看護師等学校・養成所	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	10	14
	その他	0	0	5	2	0	0	1	0	1	0	33	42
	計	104	38	110	55	69	53	69	31	86	78	463	1,156
助産師	病院	13	0	0	1	0	0	4	9	3	10	250	290
	診療所	5	0	26	0	4	20	0	1	7	5	70	138
	助産所	2	1	9	0	2	2	4	0	0	5	39	64
	県又は市町村	4	0	2	1	1	0	2	0	0	0	3	13
	看護師等学校・養成所	4	0	0	0	0	0	1	0	0	2	6	13
	その他(訪問看護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	計	28	1	37	2	7	22	11	10	10	22	371	521
看護師	病院	1,150	348	1,523	296	385	648	1,296	588	635	1,013	9,296	17,178
	診療所	277	51	294	45	97	153	157	83	56	164	1,692	3,069
	助産所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
	訪問看護ステーション	129	29	168	22	92	54	127	26	43	71	891	1,652
	介護保険施設等	203	53	144	97	98	105	159	79	74	148	640	1,800
	社会福祉施設	36	26	94	21	40	17	47	23	19	51	121	495
	県又は市町村	47	15	24	4	18	21	16	5	13	23	133	319
	事業所	1	0	7	1	0	1	1	2	1	9	36	59
	看護師等学校・養成所	49	23	4	0	0	4	20	1	4	37	142	284
	その他	5	0	13	4	3	17	16	1	5	4	114	182
	計	1,897	545	2,271	490	733	1,020	1,839	808	850	1,520	13,070	25,043
准看護師	病院	169	100	180	99	138	151	182	107	241	242	958	2,567
	診療所	222	116	215	60	109	208	282	88	181	193	912	2,586
	訪問看護ステーション	10	2	14	6	13	7	37	4	20	9	89	211
	介護保険施設等	153	70	129	127	121	134	245	68	173	191	468	1,879
	社会福祉施設	29	23	35	14	37	9	40	15	33	32	78	345
	県又は市町村	7	2	1	2	8	1	0	1	6	10	9	47
	事業所	1	0	6	2	0	1	1	0	0	3	20	34
	看護師等学校・養成所	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	4
	その他(熊本市助産所1名)	4	0	6	4	3	8	13	0	7	3	26	74
	計	595	313	586	314	429	519	801	284	661	683	2,562	7,747
合計		2,624	897	3,004	861	1,238	1,614	2,720	1,133	1,607	2,303	16,466	34,467
割合		7.6%	2.6%	8.7%	2.5%	3.6%	4.7%	7.9%	3.3%	4.6%	6.7%	47.8%	100%
令和4年合計		2,587	914	2,857	866	1,296	1,671	2,778	1,193	1,625	2,246	16,835	34,868
令和4年との比較(注)		37	▲ 17	147	▲ 5	▲ 58	▲ 57	▲ 58	▲ 60	▲ 18	57	▲ 369	▲ 401

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届(調査日:令和6年12月31日)

注:令和4年との比較は、令和6年合計を令和4年合計で減じたもの。

6 病院病床100床当たりの保健所管轄別就業看護職員数

令和6年の病院病床100床当たり就業看護職員数は、熊本県は平均63.5人で、全国の68.0人を4.5人下回っています。保健所管轄別では、熊本市の72.7人が最も高く、阿蘇の43.4人が最も低くなっています(表10)。

また、病院病床100床当たりの就業看護職員数が前回調査より減少しているのは、山鹿、阿蘇、御船、水俣、天草、熊本市となっています(図9)。

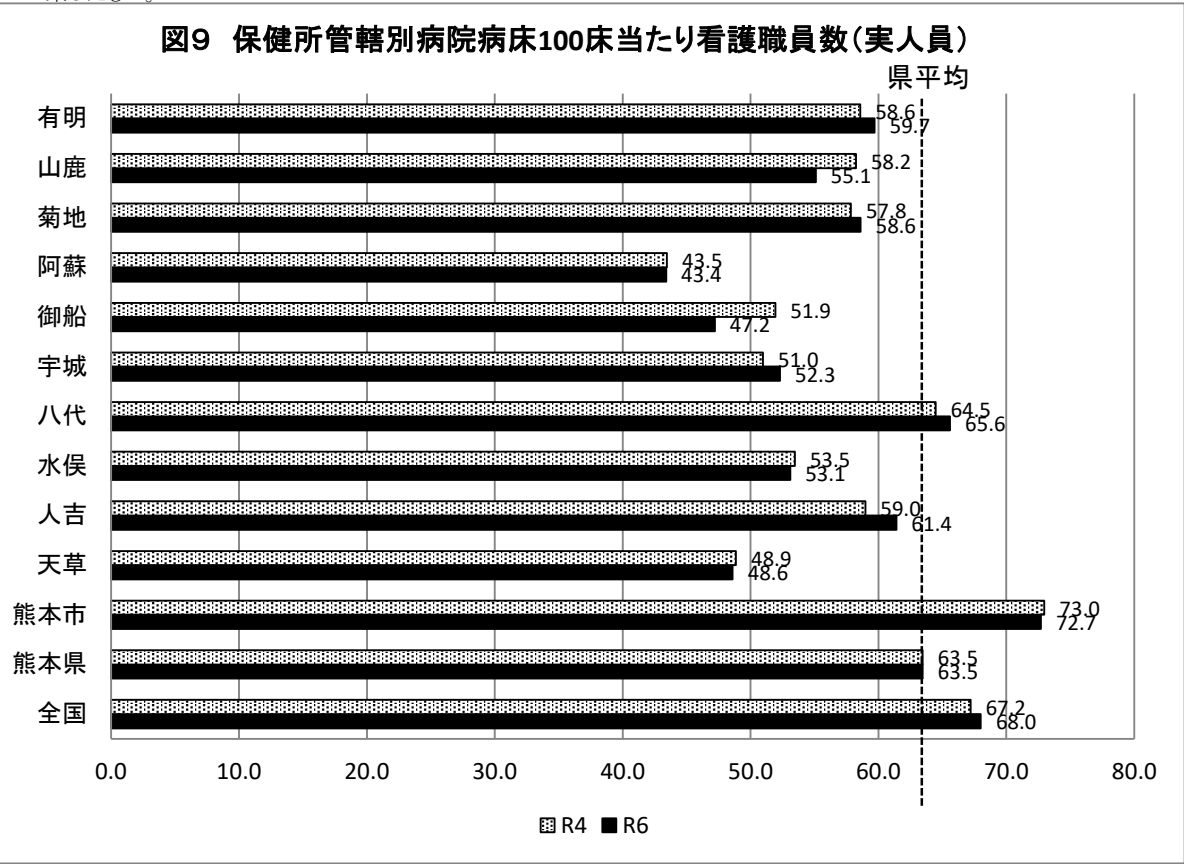
表10 病院病床100床当たり保健所管轄別職種別就業看護職員数(注1)

<単位:人>

職種 圏域	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	病院病床数(総数) (令和6.4.1)
有明	0.3	0.6	51.3	7.5	59.7	2,240
山鹿	0.8	0.0	42.1	12.1	55.1	826
菊池	0.3	0.0	52.1	6.2	58.6	2,923
阿蘇	0.0	0.1	32.5	10.9	43.4	912
御船	0.1	0.0	34.7	12.4	47.2	1,109
宇城	0.1	0.0	42.3	9.8	52.3	1,533
八代	0.4	0.2	57.0	8.0	65.6	2,272
水俣	0.1	0.7	44.3	8.1	53.1	1,328
人吉	0.5	0.2	44.0	16.7	61.4	1,444
天草	0.3	0.4	38.6	9.2	48.6	2,622
熊本市	0.5	1.7	63.9	6.6	72.7	14,553
熊本県	0.4	0.9	54.1	8.1	63.5	31,762
常勤換算	0.4	0.9	51.6	7.6	60.4	
全国	0.3	1.6	61.0	5.2	68.0	1,469,845
常勤換算	0.3	1.5	58.3	4.8	64.9	

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届(調査日:令和6年12月31日)、令和6年医療施設調査(調査日:令和6年10月1日)

注1:病院病床100床当たり保健所管轄別職種別就業看護職員数は、病院で働く看護職員数を病院病床数で除し、100を乗じたもの。



7 専門性の高い看護職員の状況

専門看護師等の専門性の高い看護職員の人数は、毎年増加しており、令和6年12月末現在で、専門看護師27人、認定看護師382人、認定看護管理者82人となっています(表11、図10)。また、分野別では、感染管理・緩和ケアが多いという現状です(図11)。

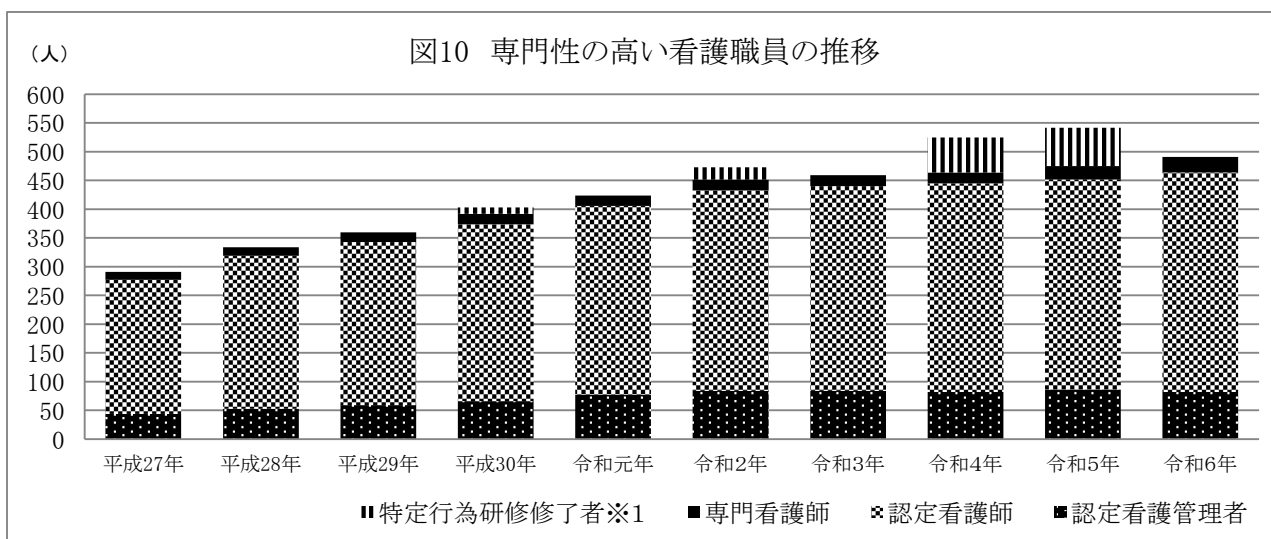
表11 専門性の高い看護職員の推移

<単位:人>

調査年	専門看護師	認定看護師	認定看護管理者	特定行為研修 修了者※1
平成27年	14	233	44	-
平成28年	15	266	53	-
平成29年	17	284	59	-
平成30年	18	308	66	11
令和元年	18	329	77	-
令和2年	19	349	84	21
令和3年	19	356	84	-
令和4年	19	363	82	61
令和5年	23	366	86	67
令和6年	27	382	82	-

※出典:日本看護協会、日本精神科看護協会(調査日:調査年の12月31日)

※1:厚生労働省医政局看護課調べ



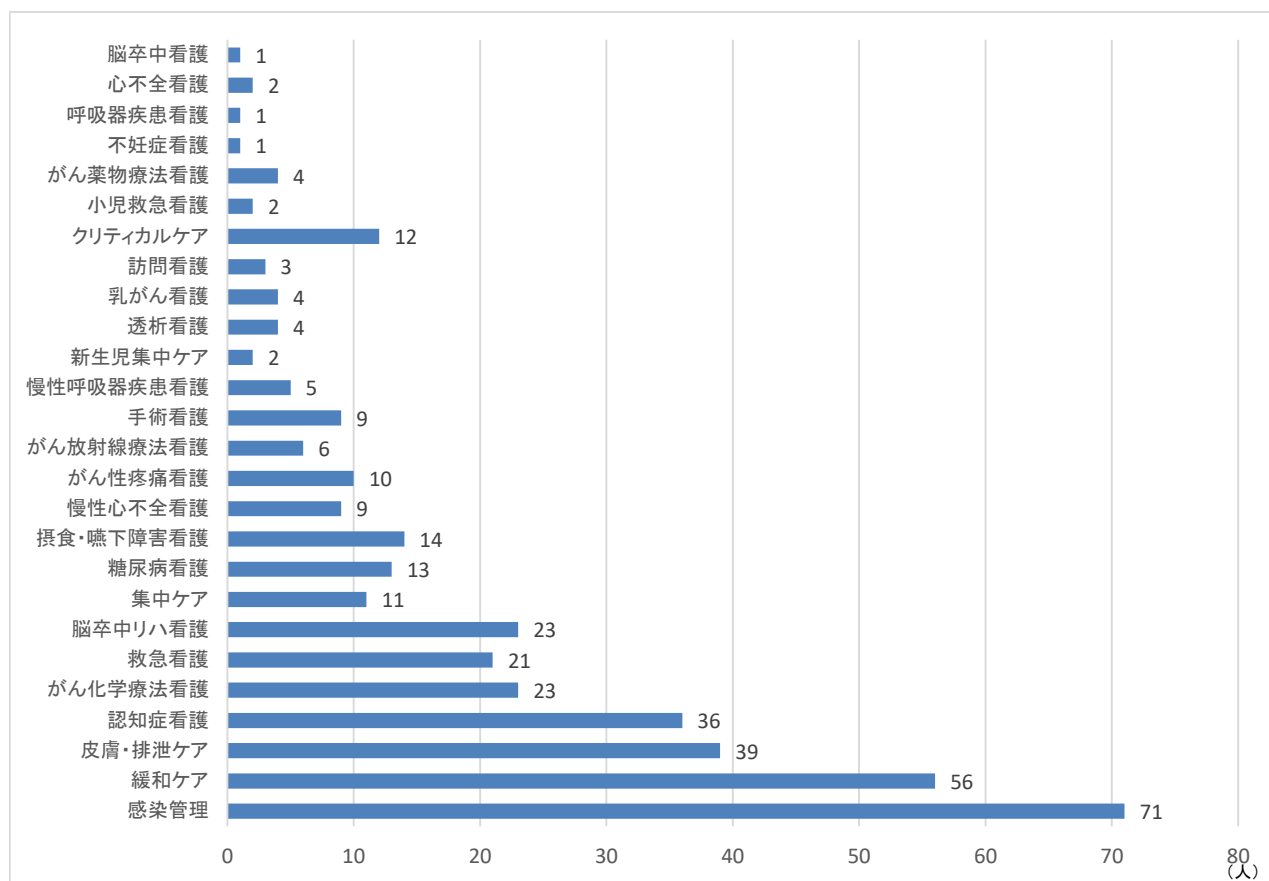
注1: 専門看護師とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、看護系の大学院で修士課程を修了して必要な単位を取得した後に、公益社団法人日本看護協会(以下「日本看護協会」という。)の専門看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。

注2: 認定看護師とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める認定看護師教育を修め、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。

注3: 認定看護管理者とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める認定看護管理者教育を修め、日本看護協会の認定審査に合格することで取得できる資格です。

注4: 特定行為研修修了者とは、特定行為研修(医師等の判断を待たずに手順書により一定の診療の補助を実施する看護師を養成する研修)を修了した看護師のことです。

図11 分野別認定看護師認定者数



※出典: 日本看護協会(調査日: 令和6年12月31日)